

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL

英米歌曲シリーズ Vol.2 ❖ S.バーバーとG.C.メノッティ

S A M U E L

S.バーバー ❖ 「世捨て人の歌」「ヌヴォレッタ」「3つの歌Op.45」「4つの歌Op.13」

B A R B E R

佐竹由美ソプラノリサイタル



佐竹由美  
SOPRANO

江口玲  
PIANO

&



©黒田力丸

G I A N C A R L O

G.C.メノッティ❖「5つの歌」バーバー&メノッティ❖オペラ『ヴァネッサ』より

M E N O T T I

料金 ❖ 全自由席4,500円(税込) 主催 ❖ N&A design 後援・マネジメント ❖ 財団法人東京二期会

チケット販売・お問合せ ❖ 二期会チケットセンター03-3796-1831 (平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休)

チケット販売 ❖ 東京文化会館チケットサービス03-5685-0650 朝日ホールチケットセンター03-3267-9990

芸術文化振興基金助成事業 

2010年10月20日[水] 開演❖19:00 開場❖18:30 浜離宮朝日ホール

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL  
SAMUEL & GIAN CARLO  
BARBER & MENOTTI  
佐竹由美ソプラノリサイタル

S.バーバーとG.C.メノッティ

英米歌曲シリーズ Vol.2

1910年生まれのS.バーバーと1911年生まれG.C.メノッティ。このふたりの深い友情関係は、1928年メノッティのカーチス音楽院入学での出会いから始まった。当時のことをメノッティは次のように話している。

「ほんの少しの英語しか話せなかった私が最初に出会ったのがS.バーバーであった。彼は流暢なフランス語とイタリア語が話せる唯一の学生であった。そしてもちろん私たちはすぐに仲間となり、生涯の友となった。バーバーは眉目秀麗で多くの才能に溢れ、すでに大学内の人気者であった。それだけでなく美しいバリトンの声を持ち、優秀なピアニストでもあり、もちろん傑出した作曲家でもあった」  
1943年バーバーとメノッティは共同でニューヨーク・キスコに家を購入、その地での30年間は共同制作も含め、ふたりにとって人間的にも音楽的にも実り多いものとなる。後にメノッティはスコットランドに移住するが、彼らの友好関係は1981年バーバーがこの世を去るまで続いたと言われている。英米歌曲シリーズ第2夜は、このふたりの代表的な歌曲作品を取り上げ、そしてメノッティの台本によるバーバーのオペラ「ヴァネッサ」からアリアを皆様にお届けいたします。

ARTIST PROFILE

佐竹由美 SATAKE, NAOMI

SOPRANO

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際音楽コンクール第2位入賞。ライブツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。また各地でのリサイタルや日本歌曲などのコンサート活動をはじめ、現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。大学院博士課程においてはS.バーバー、A.コープランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会などに主要キャストとして活躍、近年はチェステイ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年2月より文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。

2005年ソロアルバム『A Lei ~ あなたへ』、2008年『A Singing Bird~歌う小鳥』（日本アコースティックレコード）をリリース。その他『世界の愛唱歌』・『ジョイフル・クリスマス』（キングレコード）、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II・III（東京書籍）、『バッハ幻の結婚カンタータ』（毎日クラシックス）、シューマンオラトリオ『楽園とベリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』などがある。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員  
オフィシャル・ウェブサイトwww.satakes.com/

江口玲 EGUCHI, AKIRA

PIANO

東京藝大附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業したのち、ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。現在、欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍している他、ギル・シャハム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くのヴァイオリニスト達と共演している。数多くのレコーディングでも高い評価を得ており、2009年には過去の浜離宮朝日ホールでの4回にわたるリサイタルから抜粋された「ライブ!ソナタ集」（フランク/コルトー編のソナタ他）と「ライブ!小品集」（コープランド等の小品、及びホロヴィッツのカルメン変奏曲）が発売され、その2枚ともがレコード芸術誌から特選盤に選出された。現在はニューヨークに在住し、势力的な演奏活動とともにニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭を執っている。また2006年より洗足学園音楽大学大学院の客員教授を務めている。  
オフィシャル・ウェブサイトwww.akiraeguchi.com

PROGRAM

S.バーバー

Samuel Barber

「3つの歌」作品45

“Three Songs” Op.45

1. Now Have I Fed and Eaten up the Rose
2. A Green Lowland of Pianos
3. O Boundless, Boundless Evening

G.C.メノッティ

Gian Carlo Menotti

「5つの歌」

“Five Songs”

1. The Eternal Prisoner
2. The Idle Gift
3. The Longest Wait
4. My Ghost
5. Swing

S.バーバー

Samuel Barber

「4つの歌」作品13

“Four Songs” Op.13

1. A Nun Takes the Veil - Heaven Haven
2. The Secrets of the Old
3. Sure on this Shining Night
4. Nocturne

S.バーバー

Samuel Barber

「ヌヴォレッタ」作品25

“Nuvoletta” Op.25

S.バーバー&G.C.メノッティ

Samuel Barber & Gian Carlo Menotti

オペラ「ヴァネッサ」より

from “VANESSA”

Do Not Utter a Word

S.バーバー

Samuel Barber

「世捨て人の歌」

“Hermit Songs”

1. At Saint Patrick's Purgatory
2. Church Bell at Night
3. St. Ita's Vision
4. The Heavenly Banquet
5. The Crucifixion
6. Sea-Snatch
7. Promiscuity
8. The Monk and His Cat
9. The Praises of God
10. The Desire for Hermitage